

平成20年度

奈良県における石綿の健康リスク調査報告書

奈良県

# 奈良県における石綿の健康リスク調査報告書

## 目次

1. 目的	1
2. 内容	1
(1) 調査対象者	1
(2) 調査期間	
(3) 調査内容	1
(ア) 問診及び登録	1
(イ) 検査の実施	1
(ウ) 医学的所見に基づく初回検診以降の継続調査対象者の選定	1
(エ) 平成21年度の継続調査	2
(オ) データの集約	2
3. 結果	2
(1) 調査協力者数	2
(2) 調査協力者の受診状況	3
(3) 調査協力者数の医学的所見・ばく露歴の整理	4
4. まとめ	4
5. 石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があるとされた者の診断経過について	5
6. データ	6
7. 参考資料	29

## 1. 目的

一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があった奈良県において、県全域の石綿関連工場等の周辺住民及び居住歴のある住民等に対して、問診、胸部X線検査、胸部CT検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の有無や、健康影響との関係に関する知見を収集し、石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を前年度に引き続き本調査を行った。

## 2. 内容

### (1) 調査対象者

本調査に応募した者で平成元年12月31日以前に奈良県に在住し、原則、現在も奈良県に居住する者で、一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があり、今回の調査に同意を得られた者。

なお、上記以外の応募者についても石綿ばく露の可能性があり、調査の同意が得られた場合は調査協力者として本調査に加えた。

### (2) 調査期間

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

### (3) 調査内容

#### (ア) 問診及び登録

平成20年度の新たな調査対象者は県広報誌、県内市町村広報紙等により募集した。

応募者に対し、保健所等において保健師等立ち会いの下、問診票を用いた問診を実施した。ばく露の可能性が認められた者に対し、本調査事業の説明を行い、調査協力に対する同意を得られた者に、胸部X線検査、胸部CT検査等の精密診断を実施するに当たっての医療機関への受診券を発行し、石綿検診記録帳を渡した。

平成19年度の調査継続者には、調査協力依頼と問診票を送付し協力の了承が得られた者に、胸部X線検査等の精密診断を実施するに当たっての医療機関への受診券を発行した。

#### (イ) 検査の実施

調査対象者は、精密診断を受診するに当たり、奈良県が発行した受診券を指定医療機関（県立奈良病院、県立三室病院、国立病院機構奈良医療センター、奈良県健康づくり財団、済生会中和病院）に提出し、胸部X線検査、胸部CT検査、診察を行った。なお、継続調査対象者は、胸部X線検査を原則とし、必要に応じて胸部CT検査等を行った。

なお、過去1年以内に胸部X線検査やCT検査を受診している調査対象者については、その際の胸部X線、CT検査のフィルムの提供を求め、原則、胸部X線及びCT検査は実施しなかった。

検査結果については、各指定医療機関より迅速に本人に伝えるとともに奈良県石綿ばく露健康リスク調査専門委員会（以下「専門委員会」という。）にて再度読影を行った後、調査協力者に専門委員会から結果通知を行い、調査登録台帳に登録した。

#### (ウ) 医学的所見に基づく初回検診以降の継続調査対象者の選定

専門委員会において、胸部CTの再読影を行い、その際に軽微なものも所見と判断するよう努めながらA表の注1のとおりに分類し、その後の追跡調査は以下のように対応していくこととした。

##### 【医学的所見に基づく選定】

- ① 石綿健康被害救済法の対象疾病となった者は、その時点で調査終了とする。

- ② 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、医療の必要がないと判断された者は、経過観察とする。
- ③ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められる者のうち、医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に調査対象者に含めることは妨げない。
- ④ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、医療の必要がないと判断された者は、経過観察とする。
- ⑤ 石綿ばく露に関する医学的所見が認められない者のうち、他の疾病により医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に調査対象者に含めることは妨げない。

平成19年度に上記②または④と判断された者については、平成20年度に受診勧奨を行った。ただし、主治医の指示などにより1年未満に実施した胸部X線検査の結果、要精密検査となった場合は、それ以降の一連の検査について、本事業の対象範囲として取り扱うこととした。なお、①、③及び⑤の対象者については、できる限り調査対象者に同意を得た上で、治療経過等の把握に努めた。

#### (エ) 平成21年度の継続調査

前記【医学的所見に基づく選定】で②または④と判断された者は、奈良県が受診勧奨し、原則年1回の胸部X線検査、必要に応じ胸部CT検査等を実施する。

なお、平成21年度の検査内容及び受診の必要性の可否は、平成20年度の検査結果等を総合的に勘案して判断するものとする。

#### (オ) データの集約

奈良県は、上記(ア)～(エ)の一連の作業について、専門委員会において意見を聴取して、データ集約を行った。

### 3. 結果

#### (1) 調査協力者数

問診・胸部X線検査、胸部CT検査を受診・資料提供した者 535 人（継続 212 人、新規 323 人）

内訳は、

- ① 平成元年以前に奈良県に居住し、現在も奈良県に居住している者 511 人
- ② 平成元年以前に奈良県に居住していたが、現在は奈良県に居住していない者 10 人
- ③ その他の者 14 人（平成2年以降に奈良県に居住していた者）

#### 市町村別受診者数(調査時の居住地)

市町村名	①	②	③	計	市町村名	①	②	③	計
奈良市	12 (4)			12 (4)	香芝市	8 (4)			8 (4)
天理市	1			1	橿原市	13 (9)			13 (9)
大和郡山市	13 (7)		1 (1)	14 (8)	葛城市	1			1
生駒市	2 (1)		1 (1)	3 (2)	桜井市	4 (4)			4 (4)
平群町	8 (4)			8 (4)	広陵町	13 (6)			13 (6)
三郷町	32 (25)		1 (1)	33 (26)	河合町	14 (8)			14 (8)
斑鳩町	219 (143)	1	6	226 (143)	五條市	3 (2)			3 (2)
安堵町	3 (2)			3 (2)	吉野町	3 (2)			3 (2)
下市町			1 (1)	1 (1)	大淀町	3		1 (1)	4 (1)
宇陀市	1 (1)			1 (1)	上牧町	9 (5)			9 (5)
田原本町	3			3	王寺町	125 (70)		1	126 (70)
川西町	6 (5)			6 (5)	三宅町	1 (1)			1 (1)
大和高田市	7 (5)			7 (5)	県外		9 (5)	2 (1)	11 (6)
御所市	7 (4)			7 (4)	計	511 (312)	10 (5)	14 (6)	535 (323)

※ ( ) 内は、平成20年度新規調査協力者(再掲)

(2) 調査協力者の受診状況

受診医療機関は、奈良医療センターと健康づくりセンターで71.8%となっている(表1)。

調査協力者535人の男女別は、男性275人、女性260人で、受診者の年齢階層別では、60歳代が一番多く、ついで70歳代、50歳代となっており、50～70歳代が75.1%であった(表2-1)。

検査項目別では、胸部CTまで受けた人が68.6%であった(表2-2)。

表1 指定医療機関別受診者数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
県立奈良病院	13	2.6	6	2.5	7	2.7
奈良医療センター	134	27.7	68	27.6	66	27.7
健康づくりセンター	251	46.9	125	45.5	126	48.5
済生会中和病院	43	9.2	27	11.3	16	6.9
県立三室病院	56	10.5	29	10.5	27	10.4
その他	38	7.1	20	7.3	18	6.9
合計	535	100.0	275	100.0	260	100.0

表2-1 年齢階層別受診者数

年齢区分	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
20～29歳	8 (6)	1.5	3 (1)	1.1	5 (5)	1.9
30～39歳	40 (27)	7.5	20 (13)	7.3	20 (14)	7.7
40～49歳	70 (45)	13.1	28 (22)	10.2	42 (23)	16.2
50～59歳	106 (69)	19.8	40 (26)	14.5	66 (43)	25.4
60～69歳	184 (111)	34.4	100 (65)	36.4	84 (46)	32.3
70～79歳	112 (57)	20.9	75 (38)	27.3	37 (19)	14.2
80～89歳	14 (7)	2.6	9 (5)	3.3	5 (2)	1.9
90～99歳	1 (1)	0.2	0	0.0	1 (1)	0.4
合計	535 (323)	100.0	275 (170)	100.0	260 (153)	100.0

※( )内は、平成20年度新規調査協力者(再掲)

表2-2 検査項目別受診者数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診+胸部X線+胸部CT	367	68.6
問診+胸部X線のみ	111	20.7
問診+胸部CTのみ	19	3.6
問診のみ	38	7.1
合計	535	100.0

### (3) 調査協力者数の医学的所見・ばく露歴の整理

調査協力者のばく露歴や医学的所見について、整理・集計した(A表)。

平成19年度に受診し、経過観察となった者369人中、212人が平成20年度にも受診しており、平成20年度のX線所見は、不変95人、所見変化117人であった(A-1,2表)。

また、平成20年度の調査協力者521人の内、ばく露歴分類「ア.～エ.」の人は253人、「オ.その他」の人は268人であった(B、B-2表)。

「オ.その他」の者の内、平成元年以前に奈良県内に居住していた者268人をプロット対象者数とし、居住期間に応じて大きさを変えてプロットした(D表)。

#### <参考> ばく露歴分類

ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者

イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者

ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者

エ. 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者

オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)

## 4. まとめ

上記調査の結果、次のことが確認された。

- 今回の調査協力者 535 人中、平成2年以降に奈良県に居住していた者 14 人を除く 521 人のうち、医学的所見のある者が 158 人(30.3%)いた。有所見者における主な所見の構成割合は、胸膜プラークが 102 例(64.6%)と最も多く、肺野の腫瘍状陰影 56 例(35.4%)、肺野間質影 32 例(20.3%)、胸膜下曲線様陰影 10 例(6.3%)であった(C-1表)。
- 調査対象者 521 人中、石綿ばく露に関わる何らかの職業歴や家族職業歴等のある者は 253 人(48.6%)で、具体的なばく露歴が特定されない者が 268 人(51.4%)いた(B表)。
- 具体的なばく露歴の特定されない者 268 人(B表)において何らかの医学的所見のある有所見者数(有所見率)は 66 人(24.6%)であった。  
主な所見別に有所見率を見ると、肺野の腫瘍状陰影 32 例(11.9%)、胸膜プラークが 31 例(11.6%)、肺野間質影 13 例(4.9%)、胸膜下曲線様陰影 7 例(2.6%)であった(C-1表)。
- 平成元年以前の奈良県居住が特定できた者の内、具体的なばく露歴の特定されない者 268 人(B表)を、所見別にマークを変えて居住地に従って地図上にプロットした。対象者が転居している場合には、すべての居住地をプロットすることとした。居住地は全体で 447 か所となったが、そのうち住所の番地まで特定できなかった 68 か所を除く 379 か所について地図上にプロットした(D-1,2図)。

5. 石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成 19 年度の石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者 1 人がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行うこととしたが、本人の承諾が得られなかったため計上していない。

平成19年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち女性	ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
			うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性				
対象者	1	1									1	1
石綿関連疾患(疑いを含む)												
a 中皮腫												
b 肺がん												
c 石綿肺												
d 良性石綿胸水												
e びまん性胸膜肥厚												

※( )は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

## A表の注釈

注1:医学的所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関連する可能性がある①～⑨及びその他の所見⑩(石綿ばく露に関連しない)を確認する。(重複含む)

総合所見欄は、複数年の医学的所見を踏まえて決定する

- ①胸水貯留が認められる者
- ②胸膜プラーグ(限局性の胸膜肥厚斑)が認められる者
- ③びまん性胸膜肥厚が認められる者
- ④胸膜腫瘍の疑いが認められる者
- ⑤胸膜下曲線様陰影が認められる者
- ⑥肺野の間質影が認められる者
- ⑦円形無気肺が認められる者
- ⑧肺野の腫瘤状陰影が認められる者
- ⑨リンパ節の腫大が認められる者
- ⑩その他の所見が認められる者

注2:ばく露歴については、該当するものにすべて●を記入(ア～オは重複可)

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)

(「具体的なばく露歴」の記入例)

例1 幼少期(S25-27頃)に石綿工場で遊んだ経験があり、父が石綿工場で勤務していた → ウとエ

例2 石綿工場近くの〇〇小学校にS30-35の6年間通学 → オ

例3 S28-40の間、設備の点検のため石綿工場に定期的に入出入りしていた。かつ、住居が石綿工場に近接(S26-50に〇〇1丁目に居住)していた → イとオ

イとエの分類が紛らわしいものの例: 業務上で吹き付け石綿がある場所や石綿工場の敷地内に立入る場合は、原則「イ」とする。ただし、作業現場以外(事務室・当直室・食堂など)への立入に限っては「エ」とする。

注3:ばく露歴分類案については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者や作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 上記ア～ウに該当せず、職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エに該当しないもの

上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注4:経過観察・終了の欄については、調査終了の場合に「終」とその理由を記入する

注5:備考欄については、特記事項を記入する

(例1:X線・CT以外の検査を実施した場合の検査項目の記入、例2:石綿救済制度や労災制度の認定や申請中である旨の記入 等)



ばく露と医学的所見に係わる集計表(奈良県)

A-1表: 2008年度受診者①②(521名)

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
1	男	1940代	⑩	不変	—	⑩	●					ア	右上葉癒痕	
2	男	1930代	⑩	軽減	—	なし	●					ア		
3	男	1980代	⑩	軽減	—	なし	●					ア		
4	男	1940代	⑩	不変	—	⑩	●					ア	右肋横角鈍化	
5	女	1930代	⑩	軽減	—	なし	●					ア		
6	男	1920代	②	新所見	○	②⑩	●					ア	肝のう胞	
7	女	1920代	②⑥⑩	軽減	○	②	●					ア		
8	男	1940代	⑧	不変	○	⑧	●					ア		
9	男	1940代	⑩	軽減	—	なし	●					ア		
10	男	1930代	⑩	不変	—	⑩	●					ア	右上肺癒痕	
11	男	1940代	②⑩	軽減	○	②	●					ア		
12	男	1930代	②⑩	不変	○	②⑩	●					ア	左右のう胞、左甲状腺腫瘍	
13	男	1950代	⑩	軽減	—	なし	●					ア		
14	男	1920代	②⑩	軽減	○	②⑩	●					ア	左下葉S6無気肺	
15	男	1940代	②	新所見	○	②⑧	●					ア	肺野低吸収域・気腫性変化、肺気腫、葉間胸膜肥厚	
16	男	1930代	⑩	不変	○	⑩	●					ア	胸膜石灰化(非ブランク)	
17	男	1920代	②⑩	不変	○	②⑩	●					ア	両側上肺炎症性癒痕	
18	男	1930代	②⑧	新所見	○	②⑧⑩	●					ア	右上・中肺野癒痕性変化	
19	男	1940代	⑩	不変	—	⑩	●					ア	心拡大	
20	女	1930代	⑩	不変	—	⑩	●					ア		
21	男	1940代	⑩	不変	—	⑩	●					ア		
22	男	1930代	②⑤⑥⑩	軽減	—	②	●					ア		
23	男	1940代	②⑩	軽減	—	なし	●					ア		
24	男	1970代	なし	不変	○	なし	●					ア		
25	男	1930代	②③⑦	新所見	○	②③⑦⑨⑩	●					ア	右肋横角消失・鈍、両肺野低吸収域・気腫性変化	
26	男	1930代			○	②⑤⑥⑨⑩	●					ア	右肺尖部胸膜肥厚	
27	男	1920代			○	⑩	●					ア	陳旧性肺結核、肺気腫、肺野低吸収域・気腫性変化	
28	男	1920代			○	②	●					ア		
29	男	1940代			○	⑩	●					ア	左肺炎症性癒痕	
30	男	1940代			○	なし	●					ア		
31	男	1940代			○	なし	●					ア		
32	男	1940代			○	⑩	●					ア	肝のう胞、両肺尖炎症性癒痕	
33	男	1940代			○	②⑥⑩	●					ア	胆石、右下肺癒痕陰影	
34	男	1940代			○	なし	●					ア		
35	男	1930代			○	⑩	●					ア	両側肺尖部癒痕	
36	男	1940代			○	⑩	●	●				ア	肺気腫、気管支壁肥厚	
37	男	1930代			○	⑩	●	●				ア	胆石疑い	
38	男	1930代	②⑤⑩	軽減	—	②	●	●			●	ア		
39	男	1930代			○	なし	●	●			●	ア		
40	女	1940代			○	⑩	●	●			●	ア	両肺尖・右中葉炎症性癒痕	
41	女	1950代			○	⑩	●	●			●	ア	心拡大・脂肪肝疑い、左第5、6骨折痕疑い	
42	男	1940代			○	②⑧	●	●			●	ア		
43	女	1930代	⑩	不変	—	⑩	●		●			ア	右中葉炎症性癒痕	
44	男	1940代			○	②⑩	●		●			ア	右肺炎症性癒痕(胸膜肥厚あり)	
45	男	1960代			○	なし	●		●			ア		
46	男	1930代			○	②③⑧⑩	●		●			ア	両肋横角消失・鈍、右下葉円形性無気肺疑い、左下葉石灰化を伴う結節影、両下葉結節影、左右のう胞、胆石	

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
47	女	1970代			○	なし	●		●			ア		
48	男	1970代			○	⑩	●		●			ア	右S6癒痕、高度脂肪肝	
49	男	1930代	⑨⑩	軽減	—	⑩	●		●		●	ア	心拡大、 肺動脈拡張	
50	女	1950代	⑧	不変	○	⑧	●		●		●	ア		
51	男	1930代			○	⑩	●		●		●	ア	右中葉・右肺尖癒痕陰影	
52	男	1940代			○	なし	●		●		●	ア		
53	女	1950代			○	⑩	●		●		●	ア	右下肺石灰化、心 拡大、右上肺癒痕 陰影、縦隔リンパ節 石灰化	
54	女	1920代			○	②⑩	●		●		●	ア	右中葉S4気管支拡張を伴う炎症性癒痕	
55	男	1930代	なし	不変	—	なし	●			●		ア		
56	男	1940代	なし	不変	—	なし	●			●		ア		
57	男	1930代	②⑩	不変	○	②⑩	●			●		ア	胆石	
58	男	1940代	⑩	不変	—	⑩	●			●		ア	肺気腫・右上葉癒痕	
59	男	1940代			○	⑨⑩	●			●		ア	脾腫、左下葉癒痕陰影	
60	男	1940代			○	②⑩	●			●	●	ア	左下葉・右中葉癒痕	
61	女	1940代			○	②	●	●	●		●	ア		
62	男	1950代	⑧	不変	○	⑧	●				●	ア		
63	女	1960代	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
64	男	1960代	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
65	男	1940代	⑧	軽減	○	なし	●				●	ア		
66	男	1930代	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
67	女	1950代	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
68	男	1930代	②⑥⑨⑩	軽減	○	②⑥	●				●	ア		
69	男	1930代	⑩	軽減	—	なし	●				●	ア		
70	男	1940代	⑩	軽減	—	なし	●				●	ア		
71	男	1940代	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
72	女	1940代	⑨⑩	軽減	—	⑩	●				●	ア	左下葉癒痕、両肺尖癒痕	
73	女	1960代	なし	不変	—	なし	●				●	ア		
74	男	1940代	②⑩	不変	○	②⑩	●				●	ア	両肺尖部癒痕、右 中葉・左下葉・上葉 舌区癒痕	
75	男	1940代	⑩	軽減	—	なし	●				●	ア		
76	男	1930代	②⑩	新所見	○	⑥⑩	●				●	ア	中葉・舌区癒痕、左 下肺索状影	
77	男	1940代	⑩	軽減	—	なし	●				●	ア		
78	男	1930代	⑩	不変	○	⑩	●				●	ア	左右下肺炎症性癒痕	
79	男	1950代			○	⑩	●				●	ア	右中葉・左舌区炎症性癒痕	
80	男	1930代			○	⑩	●				●	ア	両肺尖癒痕陰影	
81	男	1940代			○	⑩	●				●	ア	軽度脾腫	
82	男	1960代			○	なし	●				●	ア		
83	男	1970代			○	なし	●				●	ア		
84	男	1960代			○	⑩	●				●	ア	両上肺炎症性癒痕 左肋横角消失・鈍、 右肺嚢胞、癒痕性 変化	
85	男	1930代			○	⑩	●				●	ア	リンパ節石灰化	
86	男	1930代			○	②⑩	●				●	ア	右中葉・左下葉粒 状影、胆石、脂肪 肝、左右肺底部癒痕	
87	男	1940代			○	⑩	●				●	ア	小癒痕性変化(散 在性)	
88	男	1930代			○	⑩	●				●	ア		
89	男	1940代			○	②⑥	●				●	ア		
90	男	1940代			○	⑩	●				●	ア	両肺尖部癒痕	
91	女	1950代			○	⑩	●				●	ア	両肺炎症性変化	
92	男	1950代			○	⑧	●				●	ア		
93	男	1950代			○	なし	●				●	ア		
94	男	1940代			○	②⑩	●				●	ア	右中葉・左上葉炎症性変化	
95	男	1940代			○	⑩	●				●	ア	左上葉・右中葉小結節	

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
96	男	1940代			○	②⑥	●				●	ア		
97	女	1930代			○	②⑧	●				●	ア		
98	男	1930代			○	②⑩	●				●	ア	左舌区炎症性変化、両側腎のう胞	
99	男	1930代			○	⑩	●				●	ア	肺野低吸収域・気腫性変化、左右嚢胞、肝のう胞	
100	女	1930代			○	⑩	●				●	ア	左右肺野低吸収域・気腫性変化、炎症性癒痕、炎症による胸膜肥厚	
101	男	1940代			○	②	●				●	ア		
102	男	1950代			○	なし	●				●	ア		
103	男	1970代			○	なし	●				●	ア		
104	男	1930代			○	②⑥⑩	●				●	ア	心陰影拡大、右のう胞	
105	女	1940代	⑩	不変	—	⑩		●				イ	両肺尖部炎症性癒痕	
106	男	1940代	②⑩	新所見	○	②⑤⑥⑩		●				イ	左右肺野低吸収域・気腫性変化、右嚢胞、左下葉板状無気肺	
107	男	1940代	⑩	軽減	—	なし		●				イ		
108	男	1940代	⑧⑩	軽減	○	⑧		●				イ		
109	男	1950代	なし	不変	—	なし		●				イ		
110	男	1950代	②⑧	不変	○	②⑧		●				イ		
111	女	1940代	⑩	不変	○	⑩		●				イ	右中葉炎症性変化(軽度増強)、両肺尖部癒痕性変化、両側肺尖胸膜肥厚+癒痕	
112	男	1930代			○	なし		●				イ		
113	男	1940代			○	なし		●				イ		
114	男	1970代			○	⑩		●				イ	炎症性癒痕(右の上肺など)、左右のう胞	
115	男	1920代			○	⑧⑩		●		●		イ	右肺尖プラ、左右肺野低吸収域・気腫性変化、右嚢胞、肺気腫	
116	女	1940代	⑩	軽減	—	なし		●	●	●		イ		
117	女	1960代	なし	不変	—	なし		●	●	●		イ		
118	女	1940代	②⑧	軽減	○	②		●	●		●	イ		
119	女	1940代	②⑩	不変	○	②⑩		●	●		●	イ	心拡大	
120	男	1940代	②⑩	新所見	○	②⑧⑩		●	●		●	イ	左肋横角消失・鈍	
121	男	1960代			○	なし		●	●		●	イ		
122	男	1950代			○	なし		●	●		●	イ		
123	男	1930代			○	なし		●	●		●	イ		
124	男	1940代			○	⑩		●	●		●	イ	脂肪肝・胆石	
125	女	1960代			○	なし		●	●		●	イ		
126	男	1930代			○	②⑤⑥⑩		●		●	●	イ	両肺野低吸収域・気腫性変化、両肺嚢胞	
127	男	1930代			○	⑧⑩		●		●	●	イ	両肺尖陳旧性炎症	
128	男	1930代	⑤⑩	軽減	○	⑩		●	●	●	●	イ	左上下葉癒痕	
129	女	1930代	⑩	不変	—	⑩		●	●	●	●	イ	右肋横角消失・鈍、右中葉炎症性変化	
130	男	1930代	⑩	軽減	—	なし		●			●	イ		
131	男	1930代	②③	新所見	○	②⑩		●			●	イ	軽度気腫性変化	
132	男	1930代	⑥⑩	不変	○	⑥⑩		●			●	イ	肺気腫、左上葉小結節影	
133	男	1930代	②⑩	不変	○	②⑩		●			●	イ	術後変化(僧帽弁手術)・左葉間小結節	
134	女	1940代	なし	不変	—	なし		●			●	イ		
135	男	1940代	②⑩	新所見	○	②⑧⑩		●			●	イ	左下肺小結節、右中葉・左舌区癒痕	
136	男	1940代			○	⑩		●			●	イ	両側肺癒痕性変化、肝石灰化・肝嚢胞	
137	男	1930代			○	⑤⑩		●			●	イ	左肺内石灰化像、左肺嚢胞、右肺尖部・左上葉癒痕	
138	男	1930代			○	⑩		●			●	イ	両肺尖癒痕	
139	男	1930代			○	⑧⑩		●			●	イ	右下葉癒痕性病変、右下葉背側癒痕性変化	
140	男	1950代			○	⑩		●			●	イ	右嚢胞、右肺尖炎症性癒痕	

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
141	男	1920代			○	②⑥		●			●	イ		終(治療中)
142	男	1940代			○	なし		●			●	イ		
143	男	1950代			○	⑩		●			●	イ	右肺胸膜石灰化 (非ブランク)	
144	女	1950代			○	⑩		●			●	イ	左甲状腺結節影	
145	女	1950代			○	②⑩		●			●	イ	右肺尖癒痕疑い、 右上葉・左肺尖・右 葉癒痕性変化	
146	女	1940代	⑩	軽減	—	なし		●				ウ		
147	女	1940代	⑩	不変	—	⑩		●				ウ	右上葉癒痕	
148	女	1940代	⑧⑩	軽減	○	⑩		●				ウ	左肺底部炎症性癒 痕	
149	男	1940代	⑩	不変	○	⑩		●				ウ	右肺底部嚢胞、右 肺尖・右上葉・中葉 肺底部癒痕	
150	女	1940代	⑩	軽減	—	なし		●				ウ		
151	女	1940代	⑩	軽減	—	なし		●				ウ		
152	女	1940代	②③⑩	軽減	—	②		●				ウ		
153	女	1940代			○	⑩		●				ウ	右中葉・左下葉炎 症性癒痕、左肋横 角鈍化	
154	女	1940代			○	⑩		●				ウ	脂肪肝	
155	女	1940代	⑧⑩	不変	○	⑧⑩		●	●			ウ	両側性癒痕性変化	
156	女	1920代	②⑩	新所見	○	②③⑩		●	●			ウ	心拡大	
157	女	1930代	②⑧	新所見	○	②⑩		●	●			ウ	右上葉癒痕性変化	
158	男	1960代	⑩	不変	—	⑩		●	●	●		ウ	気胸術後、左のう胞	
159	男	1940代	②	不変	○	②		●	●	●	●	ウ		
160	女	1940代	⑩	軽減	—	なし		●	●	●	●	ウ		
161	女	1940代	⑩	軽減	—	なし		●	●	●	●	ウ		
162	女	1930代	②	不変	○	②		●	●	●	●	ウ		
163	女	1930代	②⑩	軽減	—	②		●	●	●	●	ウ		
164	女	1970代	なし	不変	—	なし		●	●	●	●	ウ		
165	男	1970代	なし	不変	—	なし		●	●	●	●	ウ		
166	女	1940代			○	⑩		●	●	●	●	ウ	左下肺索状影、左 舌区癒痕	
167	男	1930代			○	⑧		●	●	●	●	ウ		
168	男	1940代			○	②		●	●	●	●	ウ		
169	女	1950代			○	⑩		●	●	●	●	ウ	両側肺尖部癒痕、 右乳房腫瘍	
170	女	1950代			○	②		●	●	●	●	ウ		
171	女	1960代	なし	不変	—	なし		●	●	●	●	ウ		
172	男	1930代	⑨⑩	軽減	—	なし		●	●	●	●	ウ		
173	女	1920代	②⑩	不変	○	②⑩		●	●	●	●	ウ	右中葉炎症性癒痕	
174	女	1930代	⑥⑩	軽減	○	⑥		●	●	●	●	ウ		
175	女	1930代	②⑩	軽減	○	②		●	●	●	●	ウ		
176	女	1950代	②	不変	○	②		●	●	●	●	ウ		
177	男	1920代	②⑤⑥⑨ ⑩	軽減	○	②⑥		●	●	●	●	ウ		
178	男	1930代	②⑧	軽減	○	②		●	●	●	●	ウ		
179	女	1950代	⑩	不変	○	⑩		●	●	●	●	ウ	左舌区小結節影	
180	女	1960代	⑩	不変	—	⑩		●	●	●	●	ウ	両側肺尖部癒痕、 上葉収縮	
181	男	1930代	⑩	不変	—	⑩		●	●	●	●	ウ	冠動脈バイパス 術後	
182	女	1940代	⑩	不変	—	⑩		●	●	●	●	ウ	右下肺野癒痕	
183	女	1940代	⑧	新所見	○	⑧⑩		●	●	●	●	ウ	左下肺・右下葉癒 痕性変化、右上葉 小結節影、左下葉・ 右中葉癒痕	
184	男	1970代	なし	不変	—	なし		●	●	●	●	ウ		
185	女	1950代	⑥⑩	軽減	—	⑩		●	●	●	●	ウ	両上葉のう胞、右上 葉癒痕	
186	女	1950代	なし	不変	—	なし		●	●	●	●	ウ		
187	女	1940代	⑩	軽減	—	なし		●	●	●	●	ウ		
188	女	1950代	⑥	新所見	○	⑧⑩		●	●	●	●	ウ	肺尖部癒痕	
189	女	1970代	⑩	不変	—	⑩		●	●	●	●	ウ	心拡大	
190	女	1940代			○	⑩		●	●	●	●	ウ	右下肺炎症性癒痕	
191	女	1950代			○	⑩		●	●	●	●	ウ	両肺底部炎症性癒 痕	
192	女	1960代			○	なし		●	●	●	●	ウ		
193	男	1940代			○	なし		●	●	●	●	ウ		
194	女	1960代			○	なし		●	●	●	●	ウ		
195	男	1970代			○	なし		●	●	●	●	ウ		

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
196	女	1960代			○	なし			●		●	ウ		
197	女	1930代			○	⑩			●		●	ウ	両肺尖癒痕性変化	
198	女	1950代			○	②⑩			●		●	ウ	右肺尖・右下葉癒痕性変化、肝左葉肝嚢胞	
199	女	1930代			○	②⑥⑩			●		●	ウ	心拡大	
200	女	1960代			○	なし			●		●	ウ		
201	女	1940代			○	⑧⑩			●		●	ウ	両側癒痕性変化、心拡大、左甲状腺腫瘍疑い	
202	女	1960代			○	⑩			●		●	ウ	左肺底部癒痕	
203	女	1950代			○	⑩			●		●	ウ	左上葉癒痕	
204	女	1930代			○	⑩			●		●	ウ	右肺S10点状石灰化	
205	女	1950代			○	なし			●		●	ウ		
206	女	1950代			○	②			●		●	ウ		
207	女	1940代			○	⑩			●		●	ウ	両肺尖部癒痕	
208	女	1960代			○	⑩			●		●	ウ	後縦(小帯石灰化)胸椎2-7	
209	女	1950代			○	②			●		●	ウ		
210	男	1940代			○	②⑩			●		●	ウ	両肺尖癒痕陰影	
211	男	1960代			○	⑩			●		●	ウ	右肺底部小結節(石灰化あり)炎症性変化	
212	女	1920代			○	⑩			●		●	ウ	両側上葉陳旧性炎症性変化	
213	男	1950代			○	②			●		●	ウ		
214	女	1940代			○	⑩			●		●	ウ	胆石	
215	男	1950代			○	なし			●		●	ウ		
216	女	1940代			○	⑩			●		●	ウ	両側上肺炎症性癒痕、肝のう胞	
217	女	1940代			○	⑩			●		●	ウ	前縦隔軟部組織陰影、胆石	
218	女	1930代			○	②⑩			●		●	ウ	両肺尖部癒痕、左肺底部・右中葉癒痕、右甲状腺小のう胞疑い	
219	男	1950代			○	②			●		●	ウ		
220	女	1980代			○	なし			●		●	ウ		
221	女	1930代			○	②⑩			●		●	ウ	肝のう胞	
222	女	1950代			○	⑩			●		●	ウ	右S3~中葉にかけて癒痕性変化	
223	女	1940代			○	②⑥			●		●	ウ		
224	男	1970代	なし	不変	—	なし			●		●	エ		
225	男	1930代	②	不変	○	②			●		●	エ		
226	男	1930代	⑩	軽減	—	なし			●		●	エ		
227	男	1930代			○	⑩			●		●	エ	両肺尖部癒痕陰影、気腫変化	
228	男	1930代	⑩	不変	—	⑩			●		●	エ	右肺炎症性癒痕	
229	女	1940代	⑩	新所見	○	⑥			●		●	エ		
230	男	1930代	⑨⑩	軽減	○	⑩			●		●	エ	左下肺斑状浸潤影(炎症性変化)	
231	女	1930代	⑩	不変	—	⑩			●		●	エ	右肺尖・右中葉癒痕陰影	
232	男	1940代	②⑩	不変	○	②⑩			●		●	エ	右肋横角消失・右下葉癒痕	
233	女	1920代	⑩	不変	—	⑩			●		●	エ	食道裂孔ヘルニア	
234	女	1960代	⑩	不変	—	⑩			●		●	エ	両肺尖陳旧性炎症性変化	
235	男	1940代	⑩	軽減	—	なし			●		●	エ		
236	男	1930代			○	なし			●		●	エ		
237	男	1930代			○	なし			●		●	エ		
238	男	1960代			○	なし			●		●	エ		
239	女	1970代			○	なし			●		●	エ		
240	男	1930代			○	②⑥⑩			●		●	エ	左下葉細気管支炎疑い	
241	男	1970代			○	なし			●		●	エ		
242	男	1940代			○	なし			●		●	エ		
243	男	1940代			○	②⑩			●		●	エ	右中葉石灰化を伴う小結節	
244	男	1930代			○	⑩			●		●	エ	両肺尖部癒痕、右下葉の炎症性変化、肝石灰化	
245	女	1940代			○	⑩			●		●	エ	左肺尖石灰化	
246	女	1930代			○	⑩			●		●	エ	胆石	
247	男	1940代			○	②⑥			●		●	エ		
248	女	1960代			○	⑩			●		●	エ	右S4小結節陰影	

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
249	男	1940代			○	⑧⑩				●	●	エ	不整形陰影	
250	男	1940代			○	②⑩				●	●	エ	左右肺野低吸収域・気腫性変化、両上肺炎症性癒痕	
251	女	1960代			○	⑩				●	●	エ	脂肪肝	
252	男	1930代			○	⑧⑩				●	●	エ	両上肺石灰化	
253	男	1940代			○	⑩				●	●	エ	両小のう胞	
254	女	1970代	なし	不変	—	なし					●	オ		
255	女	1940代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
256	女	1940代	⑧	不変	○	⑧					●	オ		
257	女	1940代	⑤⑥⑩	軽減	○	⑤⑥					●	オ		
258	男	1940代	⑤⑥⑩	不変	○	⑤⑥⑩					●	オ	左右肺野低吸収域・気腫性変化、左右嚢胞	
259	男	1940代	②	新所見	○	②⑧					●	オ		
260	女	1950代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	両肺尖部癒痕	
261	男	1970代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
262	男	1960代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	右側大動脈弓	
263	女	1930代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
264	女	1970代	⑧	軽減	○	なし					●	オ		
265	女	1930代	⑧	軽減	○	なし					●	オ		
266	女	1930代	なし	不変	—	なし					●	オ		
267	男	1970代	なし	不変	—	なし					●	オ		
268	女	1940代	②	新所見	○	②⑩					●	オ	舌区癒痕、大動脈石灰化	
269	男	1930代	②	不変	○	②					●	オ		
270	女	1940代	②⑧⑩	軽減	○	②⑧					●	オ		
271	男	1940代	②⑩	軽減	○	②					●	オ		
272	男	1920代	②⑩	新所見	○	⑤⑥⑧⑩					●	オ	肺気腫、両側肺尖癒痕、のう胞	
273	男	1930代	②⑤⑥⑩	軽減	○	②⑤⑥					●	オ		
274	男	1930代	②⑩	軽減	○	②					●	オ		
275	女	1940代	②⑧⑩	軽減	○	②⑧					●	オ		
276	女	1960代	⑥	軽減	○	なし					●	オ		
277	男	1920代	②⑤⑥⑩	軽減	○	②⑩					●	オ	左下肺癒痕陰影	
278	男	1950代	⑤⑥⑧⑩	軽減	○	⑩					●	オ	両肺野低吸収域・気腫性変化	
279	女	1930代	⑩	新所見	—	⑥⑩					●	オ	右気管支拡張	
280	女	1940代	⑧⑩	不変	○	⑧⑩					●	オ	胆石	
281	男	1960代	⑤⑥⑩	軽減	○	⑤					●	オ		
282	女	1950代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	両肺炎症性癒痕	
283	男	1940代	⑥⑩	軽減	○	⑩					●	オ	両側背側胸膜肥厚	
284	女	1940代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
285	女	1960代	⑧	不変	○	⑧					●	オ		
286	男	1970代	なし	不変	—	なし					●	オ		
287	女	1960代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
288	男	1950代	②⑧	新所見	○	②⑩					●	オ	右上肺小結節	
289	女	1950代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	右肋横角鈍化	
290	女	1950代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
291	女	1960代	⑩	軽減	○	なし					●	オ		
292	男	1930代	②	不変	○	②					●	オ		
293	女	1960代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
294	男	1950代	なし	不変	—	なし					●	オ		
295	女	1950代	なし	不変	—	なし					●	オ		
296	女	1930代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
297	男	1930代	⑧⑩	不変	○	⑧⑩					●	オ	肺気腫、多発のう胞	
298	男	1960代	⑥⑩	軽減	○	なし					●	オ	線維化改善	
299	女	1940代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	両肺炎症性変化	
300	女	1930代	⑩	新所見	○	⑥⑩					●	オ	心肥大、左腎のう胞	
301	女	1940代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
302	女	1950代	②⑩	軽減	○	②					●	オ		
303	男	1930代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
304	女	1950代	⑥	軽減	○	なし					●	オ		
305	女	1940代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	右中葉炎症性変化	
306	女	1960代	⑧⑩	軽減	○	⑧					●	オ		
307	男	1930代	②	新所見	○	②⑧⑩					●	オ	右肺底部小結節影	
308	女	1940代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
309	女	1950代	なし	不変	—	なし					●	オ		
310	男	1930代	⑩	不変	○	⑩					●	オ	右S5炎症性変化・気管支拡張	

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
311	女	1940代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	右肺尖部炎症性瘢痕	
312	女	1950代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
313	女	1950代	⑨⑩	軽減	—	⑩					●	オ	縦隔リンパ節石灰化	
314	男	1950代	②	不変	○	②					●	オ		
315	女	1960代	⑤⑩	軽減	○	⑩					●	オ	右上葉・左下葉小結節陰影	
316	男	1930代	②	新所見	○	②⑤⑥⑩					●	オ	右のう胞	
317	女	1930代	なし	新所見	○	⑩					●	オ	右上葉・左下葉炎症性変化	
318	女	1940代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
319	女	1930代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
320	女	1930代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
321	男	1940代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
322	男	1950代	②③⑩	不変	○	②③⑩					●	オ	胸膜石灰化(非ブランク)、左肋骨折後変化、肝右葉腫瘍陰影	
323	女	1950代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
324	女	1950代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
325	女	1940代	⑨⑩	軽減	—	⑩					●	オ	右縦隔リンパ節石灰化	
326	女	1960代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
327	女	1960代	なし	不変	—	なし					●	オ		
328	女	1940代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	両側肺尖部瘢痕性変化	
329	女	1940代	②⑩	不変	○	②⑩					●	オ	右上葉炎症性変化	
330	男	1950代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
331	女	1940代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	炎症性変化	
332	女	1970代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
333	女	1930代	⑩	不変	○	⑩					●	オ	両肺尖胸膜肥厚、右上葉収縮、両側肺尖部・左肺底部・左舌区瘢痕、右S6小結節	
334	女	1950代	②⑩	軽減	—	②					●	オ		
335	男	1950代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	左肺尖部瘢痕	
336	女	1940代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	両側肺尖部に瘢痕性変化	
337	男	1940代	②⑩	軽減	—	なし					●	オ		
338	女	1970代	なし	不変	—	なし					●	オ		
339	女	1930代	⑩	不変	—	⑩					●	オ	両肺尖部胸膜肥厚	
340	男	1940代			○	⑩					●	オ	心拡大	
341	女	1950代			○	なし					●	オ		
342	男	1930代			○	なし					●	オ		
343	女	1940代			○	⑩					●	オ	左舌区・右中葉炎症性瘢痕陰影、右リンパ節の石灰化	
344	女	1950代			○	なし					●	オ		
345	女	1920代			○	⑩					●	オ	左肋横角消失、両下肺炎症性瘢痕	
346	女	1940代			○	なし					●	オ		
347	女	1980代			○	なし					●	オ		
348	女	1940代			○	⑩					●	オ	右上葉・右S6陳旧性炎症性瘢痕(空洞を伴う)	
349	男	1930代			○	なし					●	オ		
350	男	1960代			○	なし					●	オ		
351	男	1930代			○	⑩					●	オ	両下葉気管支拡張、右中葉無気肺、気管支拡張	
352	男	1940代			○	⑩					●	オ	心拡大	
353	女	1940代			○	⑩					●	オ	心拡大、肝硬変	
354	女	1940代			○	②⑩					●	オ	右甲状腺腫、右中葉・左舌区炎症性瘢痕	
355	男	1930代			○	なし					●	オ		
356	女	1940代			○	なし					●	オ		
357	女	1930代			○	⑩					●	オ	右腎のう胞疑い	
358	男	1960代			○	なし					●	オ		
359	女	1930代			○	⑩					●	オ	両肺尖部胸膜肥厚、両肺尖部瘢痕	
360	女	1970代			○	なし					●	オ		
361	男	1940代			○	なし					●	オ		

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
362	女	1940代			○	⑧⑩					●	オ	右中葉炎症性変化	
363	女	1960代			○	⑩					●	オ	心拡大・脂肪肝・胆石	
364	男	1950代			○	②					●	オ		
365	女	1950代			○	⑩					●	オ	胸膜肥厚、肝のう胞	
366	女	1940代			○	⑩					●	オ	右中葉肺内石灰化像、右肺門リンパ節石灰化、右中葉・左舌区癒着性変化	
367	男	1930代			○	⑧⑩					●	オ	肺内石灰化像、左肺尖左舌区癒着、胸椎椎体に異常影	
368	女	1940代			○	⑧⑩					●	オ	胆石	
369	女	1940代			○	⑩					●	オ	脂肪肝、肝のう胞	
370	男	1930代			○	⑩					●	オ	縦隔リンパ節腫大数個	
371	男	1940代			○	⑩					●	オ	縦隔リンパ節石灰化	
372	女	1960代			○	⑩					●	オ	左S8炎症性癒着	
373	男	1950代			○	⑧					●	オ		
374	女	1940代			○	⑤⑩					●	オ		終(治療中)
375	女	1930代			○	⑧⑩					●	オ	前縦隔腫瘍	
376	女	1950代			○	⑧					●	オ		
377	女	1960代			○	⑧					●	オ		
378	男	1920代			○	②⑩					●	オ	左上肺炎炎症性癒着	
379	女	1940代			○	⑩					●	オ	中葉・舌区気管支拡張症	
380	女	1960代			○	なし					●	オ		
381	女	1950代			○	なし					●	オ		
382	女	1940代			○	⑩					●	オ	左舌区・左肺底部癒着	
383	女	1970代			○	⑩					●	オ	左肺底部癒着	
384	女	1960代			○	なし					●	オ		
385	女	1940代			○	⑩					●	オ	右横隔膜石灰化	
386	女	1970代			○	なし					●	オ		
387	女	1950代			○	⑩					●	オ	胆のう結石	
388	男	1940代			○	②⑩					●	オ	脂肪肝	
389	女	1960代			○	なし					●	オ		
390	男	1960代			○	なし					●	オ		
391	女	1940代			○	⑩					●	オ	右中葉・左肺底部癒着	
392	女	1940代			○	⑩					●	オ	肝のう胞、右肺門石灰化	
393	男	1940代			○	⑩					●	オ	肝のう胞、脂肪肝	
394	女	1970代			○	なし					●	オ		
395	男	1940代			○	なし					●	オ		
396	女	1940代			○	なし					●	オ		
397	女	1970代			○	なし					●	オ		
398	男	1950代			○	⑩					●	オ	両肺炎炎症性癒着	
399	女	1950代			○	⑩					●	オ	肝のう胞	
400	男	1960代			○	なし					●	オ		
401	男	1950代			○	⑩					●	オ	縦隔リンパ節石灰化	
402	女	1950代			○	⑩					●	オ	脂肪肝	
403	男	1940代			○	⑩					●	オ	両肺炎炎症性癒着	
404	女	1930代			○	なし					●	オ		
405	男	1940代			○	⑩					●	オ	右下葉背側に限局性胸膜肥厚	
406	男	1930代			○	⑩					●	オ	右肺炎炎症性癒着、右S2上葉陳旧性癒着、左下葉S8のう胞	
407	男	1930代			○	⑩					●	オ	両上肺癒着	
408	男	1940代			○	⑩					●	オ	両肺炎癒着、右肺尖のう胞	
409	男	1920代			○	⑩					●	オ	右上葉炎症性癒着	
410	女	1940代			○	⑧⑩					●	オ	右上葉・中葉炎症性変化	
411	女	1930代			○	⑩					●	オ	両肺炎炎症性癒着	
412	男	1940代			○	②⑤					●	オ		
413	男	1950代			○	⑧⑩					●	オ	左右のう胞、心拡大	
414	女	1930代			○	⑩					●	オ	両側上肺炎炎症性癒着、食道裂孔ヘルニア	



No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
415	女	1950代			○	⑧					●	オ		
416	男	1950代			○	②					●	オ		
417	男	1960代			○	⑩					●	オ	胆石疑い	
418	男	1950代			○	⑩					●	オ	左右嚢胞、胆石	
419	女	1950代			○	⑩					●	オ	左乳腺石灰化小結 節、肝のう胞	
420	女	1940代			○	⑩					●	オ	右乳腺石灰化、右 胸膜を巻きこむ炎症 性腫瘍	
421	男	1930代			○	②⑩					●	オ	左下葉・右上葉(S 2)癒痕性変化	
422	男	1940代			○	⑩					●	オ	両側背部胸膜肥厚	
423	女	1940代			○	⑩					●	オ	両側肺尖癒痕性変 化	
424	男	1960代			○	なし					●	オ		
425	男	1930代			○	⑥					●	オ		
426	男	1930代			○	⑧⑩					●	オ	右下肺浸潤影、右 中葉縮少と中根部 気管支拡張、胆石	
427	男	1930代			○	なし					●	オ		
428	男	1970代			○	⑩					●	オ	左右嚢胞	
429	男	1960代			○	なし					●	オ		
430	男	1970代			○	なし					●	オ		
431	女	1960代			○	なし					●	オ		
432	男	1950代			○	⑩					●	オ	両肺尖癒痕	
433	女	1980代			○	⑩					●	オ	軽度胸腺腫大	
434	女	1950代			○	なし					●	オ		
435	女	1930代			○	⑩					●	オ	左舌区炎症性癒痕 (S2)	
436	女	1960代			○	⑩					●	オ	肝のう胞	
437	男	1970代			○	なし					●	オ		
438	男	1950代			○	⑩					●	オ	右上葉(S2)炎症性 癒痕、肝のう胞	
439	女	1950代			○	なし					●	オ		
440	男	1960代			○	なし					●	オ		
441	女	1940代			○	なし					●	オ		
442	女	1940代			○	⑩					●	オ	肝内石灰化	
443	女	1960代			○	⑩					●	オ	まだら脂肪肝	
444	女	1930代			○	⑩					●	オ	肝内石灰化	
445	男	1940代			○	②⑧					●	オ		
446	女	1950代			○	⑩					●	オ	肝のう胞・脾腫	
447	女	1950代			○	⑩					●	オ	右S4陳旧性炎症性 変化	
448	女	1950代			○	⑩					●	オ	右副腎石灰化・肝 のう胞・左舌区気管 支拡張症	
449	男	1940代			○	⑩					●	オ	両肺野低吸収域・ 気腫性変化、両肺 尖炎症性癒痕、右 腎のう胞・脂肪肝	
450	女	1950代			○	⑩					●	オ	右肺尖のう胞、小結 節陰影・右肺2カ所	
451	女	1930代			○	⑩					●	オ	左上葉炎症性癒痕	
452	女	1940代			○	⑩					●	オ	胸膜肥厚疑、心膜 肥厚、心のう液	
453	男	1950代			○	なし					●	オ		
454	女	1940代			○	⑩					●	オ	左甲状腺腫大、右 肺小結節陰影	
455	男	1970代			○	⑩					●	オ	肝腫瘍疑い	
456	女	1950代			○	⑩					●	オ	右乳腺結節	
457	女	1940代			○	⑩					●	オ	右乳腺石灰化、 胆石	
458	男	1930代			○	⑥⑧⑩					●	オ		終(治療中)
459	男	1930代			○	⑧					●	オ		
460	女	1950代			○	なし					●	オ		
461	男	1940代			○	⑩					●	オ	胆石	
462	男	1960代			○	なし					●	オ		
463	男	1950代			○	なし					●	オ		
464	男	1970代			○	なし					●	オ		
465	女	1960代			○	なし					●	オ		
466	女	1960代			○	なし					●	オ		
467	女	1950代			○	⑩					●	オ	胆石	
468	男	1960代			○	⑩					●	オ	肝のう胞疑い	
469	女	1960代			○	なし					●	オ		

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
470	男	1960代			○	⑩					●	オ	右嚢胞、脂肪肝	
471	男	1940代			○	⑩					●	オ	肝のう胞	
472	女	1940代			○	⑩					●	オ	右肺尖胸膜肥厚、 左上葉癒痕、肝腫 瘤疑い	
473	女	1970代			○	なし					●	オ		
474	男	1930代			○	なし					●	オ		
475	男	1920代			○	⑥⑩					●	オ	両肺尖部・両上葉 癒痕、右上葉石灰 化結節	
476	男	1930代			○	⑩					●	オ	右中葉・左舌区癒 痕	
477	女	1930代			○	なし					●	オ		
478	男	1950代			○	⑩					●	オ	両肺尖癒痕	
479	女	1970代			○	⑩					●	オ	肝右葉1cm大小腫 瘍	
480	女	1950代			○	なし					●	オ		
481	女	1940代			○	⑩					●	オ	うつ血性変化疑い	
482	男	1950代			○	なし					●	オ		
483	女	1930代			○	②⑩					●	オ	右上葉・左下葉炎 症性変化	
484	女	1910代			○	②					●	オ		
485	女	1930代			○	②⑩					●	オ	胆石術後	
486	男	1930代			○	⑧⑩					●	オ	胆のう結石	
487	女	1940代			○	なし					●	オ		
488	男	1940代			○	なし					●	オ		
489	女	1950代			○	⑧⑩					●	オ	右中葉・左下葉背 側に癒痕性変化	
490	女	1950代			○	⑧					●	オ		
491	男	1930代			○	⑩					●	オ	左嚢胞	
492	女	1940代			○	なし					●	オ		
493	女	1950代			○	⑧⑩					●	オ	右中葉癒痕性変 化、右肋横角消失・ 鈍	
494	男	1950代			○	⑩					●	オ	右肺炎炎症性癒痕	
495	女	1960代			○	なし					●	オ		
496	女	1940代			○	なし					●	オ		
497	女	1950代			○	なし					●	オ		
498	女	1950代			○	なし					●	オ		
499	男	1940代			○	なし					●	オ		
500	男	1950代			○	⑩					●	オ	両側肺野低吸収 域・気腫性変化、両 側のう胞、両肺尖胸 膜肥厚、左腎結石	
501	女	1950代			○	なし					●	オ		
502	女	1940代			○	⑩					●	オ	右肺底部癒痕疑 い、左肺内石灰化 像、両肺側にわず かな胸膜肥厚、右 中葉癒痕	
503	男	1940代			○	⑥⑩					●	オ	左下肺癒痕陰影	
504	女	1940代			○	⑩					●	オ	左舌区炎症性癒 痕、胆石	
505	男	1940代			○	⑩					●	オ	右肋横角鈍化、右 下肺炎炎症性癒痕	
506	男	1940代			○	②					●	オ		
507	女	1940代			○	⑩					●	オ	両下葉背側中心の モザイク様変化	
508	男	1920代			○	⑥⑧⑩					●	オ	左下葉癒痕、食道 裂孔ヘルニア	
509	男	1940代			○	⑧⑩					●	オ	右上葉肺内石灰化 像、右肺底部癒痕	
510	男	1940代			○	②⑩					●	オ	右肺内石灰化像・ 右肺尖胸膜肥厚	
511	女	1960代			○	⑩					●	オ	第5肋骨部分的腫 大(骨折痕疑い)	
512	女	1950代			○	⑧⑩					●	オ	右肺尖肺内石灰化 像・右中葉癒痕・左 横隔膜挙上	
513	男	1960代			○	⑩					●	オ	肋骨の変形石灰化	
514	男	1940代			○	なし					●	オ		
515	女	1940代			○	⑩					●	オ	左下肺炎癒痕	

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
516	女	1940代			○	⑩					●	オ	脾のう胞	
517	女	1940代			○	⑩					●	オ	両側上葉胸膜肥 厚、左肺癒痕性変 化	
518	女	1970代			○	なし					●	オ		
519	女	1940代			○	⑩					●	オ	肝のう胞	
520	女	1950代			○	⑩					●	オ	両肺尖・右中葉・左 舌区炎症性変化	
521	男	1970代			○	なし					●	オ		

ばく露と医学的所見に係わる集計表(奈良県)

A-2表:2008年度受診者③(14名)

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
1	男	1930代	⑩	新所見	○	⑥⑩	●					ア	左傍脊柱部胸膜石 灰化(非プラーク)疑 い	
2	男	1930代	②⑩	不変	○	②⑩	●					ア	左肺尖部癒痕	
3	男	1970代			○	なし	●					ア		
4	男	1940代			○	②③	●				●	ア		
5	男	1920代			○	②				●		エ		
6	女	1960代	③⑩	軽減	—	なし					●	オ		
7	男	1930代	②③	新所見	○	②⑩					●	オ	右S8小結節	
8	男	1950代	⑥⑧⑩	軽減	○	⑩					●	オ	両側肺尖部癒痕、 右横隔膜挙上	
9	男	1960代	⑩	軽減	—	なし					●	オ		
10	女	1960代	③⑩	不変	○	⑧⑩					●	オ	右上葉萎縮、脾腫 大	
11	男	1970代	⑤⑩	新所見	○	⑧⑩					●	オ	両側性癒痕性変化	
12	女	1970代			○	なし					●	オ		
13	男	1960代			○	なし					●	オ		
14	男	1960代			○	なし					●	オ		

ばく露と医学的所見に係わる集計表(奈良県)

A-3表:2007年度受診時の分類条件が①または②で、2008年度は受診していない方(154名)

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職業 あり	イ. 間接職業 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
1	男	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩	●					ア	小結節陰影(右肺)	
2	男	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩	●					ア	左肺炎症性瘢痕、 気管支狭窄	
3	男	1950代	⑩	受診せず	—	⑩	●					ア	肝のう胞	
4	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩	●					ア	肝のう胞、炎症性瘢痕 左下肺両肺炎	
5	女	1950代	なし	受診せず	—	なし	●					ア		
6	男	1920代	②⑩	受診せず	—	②⑩	●					ア	右傍脊柱部胸膜肥厚、 右下肺網状影、 両下肺野優位すりガラス影	
7	男	1920代	⑨⑩	受診せず	—	⑨⑩	●	●				ア	肺線維症、のう胞、 気管支拡張、リンパ 節石灰化	
8	女	1960代	なし	受診せず	—	なし	●	●				ア		
9	女	1930代	②⑧	受診せず	—	②⑧	●		●			ア	小結節陰影	
10	男	1950代	⑤⑥⑨⑩	受診せず	—	⑤⑥⑨⑩	●		●	●		ア	間質性肺炎	
11	男	1930代	⑩	受診せず	—	⑩	●				●	ア	瘢痕性変化(左肺 尖)、左肺門部リン パ節石灰化、胆石	
12	男	1930代	⑧	受診せず	—	⑧	●				●	ア		
13	男	1940代	⑩	受診せず	—	⑩	●				●	ア	術後瘢痕	
14	男	1970代	なし	受診せず	—	なし	●				●	ア		
15	男	1940代	②	受診せず	—	②	●				●	ア		
16	男	1940代	なし	受診せず	—	なし	●				●	ア		
17	男	1930代	⑩	受診せず	—	⑩	●				●	ア	両側肺尖胸膜肥厚	
18	男	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩	●				●	ア	肝のう胞、瘢痕陰影	
19	男	1960代	なし	受診せず	—	なし	●				●	ア		
20	男	1920代	⑩	受診せず	—	⑩	●				●	ア	右上下葉瘢痕、腎 石灰化	
21	女	1950代	なし	受診せず	—	なし	●				●	ア		
22	男	1920代	⑩	受診せず	—	⑩	●				●	ア	心拡大、肝のう胞、 胆管拡張、胆道気 腫、膵管拡張	
23	男	1940代	②	受診せず	—	②	●				●	ア		
24	女	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩	●		●		●	ア	瘢痕性変化	
25	男	1930代	⑩	受診せず	—	⑩	●		●		●	ア	陳旧性炎症性変化 病状肺尖 左上葉のう胞	
26	男	1950代	なし	受診せず	—	なし		●				イ		
27	男	1950代	なし	受診せず	—	なし		●				イ		
28	男	1970代	⑩	受診せず	—	⑩		●				イ	両側肺尖上葉瘢痕 性変化、両肺尖胸 膜肥厚	
29	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩		●			●	イ	肝のう胞、腎のう胞	
30	男	1930代	⑩	受診せず	—	⑩		●			●	イ	肝のう胞	
31	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩		●			●	イ	両側上葉野瘢痕性 変化、両肺尖胸膜 肥厚	
32	女	1960代	なし	受診せず	—	なし		●			●	イ		
33	男	1950代	⑨⑩	受診せず	—	⑨⑩		●			●	イ	左下肺石灰化、両 肺尖部陳旧性炎症 性変化	
34	男	1970代	⑥⑩	受診せず	—	⑥⑩		●			●	イ	両側上肺野優位微 細粒状影、すりガラ ス影	
35	女	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩		●	●		●	イ	右乳がん術後、右 肺胸膜肥厚	
36	女	1950代	⑩	受診せず	—	⑩		●	●		●	イ	寄静脈葉、左上肺 すりガラス様陰影、 炎症性瘢痕	
37	女	1940代	なし	受診せず	—	なし		●	●		●	イ		
38	男	1940代	⑩	受診せず	—	⑩		●		●	●	イ	胆石	
39	男	1950代	②	受診せず	—	②		●		●	●	イ		
40	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩			●			ウ	右中葉小結節炎症 性変化、左舌区炎 症性変化	

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職業 あり	イ. 間接職業 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
41	女	1930代	②	受診せず	—	②			●			ウ		
42	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩			●			ウ	脂肪肝、大動脈石灰化	
43	女	1930代	②⑧⑩	受診せず	—	②⑧⑩			●			ウ	右中葉、左舌区癒痕	
44	女	1960代	なし	受診せず	—	なし			●	●		ウ		
45	女	1940代	②	受診せず	—	②			●	●		ウ		
46	女	1950代	⑥⑩	受診せず	—	⑥⑩			●	●		ウ	間質性肺炎、線維化	
47	女	1940代	②⑩	受診せず	—	②⑩			●		●	ウ	石灰化、肝内石灰化、右上葉癒痕病変疑い、中葉舌区癒痕	
48	女	1940代	⑥⑩	受診せず	—	⑥⑩			●		●	ウ	大動脈周囲石灰化、冠動脈石灰化、間質性肺炎	
49	男	1940代	②	受診せず	—	②			●		●	ウ		
50	男	1940代	②③⑤⑥⑩	受診せず	—	②③⑤⑥⑩			●		●	ウ		
51	男	1950代	⑩	受診せず	—	⑩			●		●	ウ	両側肺尖部のう胞性変化	
52	男	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩			●		●	ウ	左甲状腺腫瘍、左乳腺腫瘍	
53	女	1970代	⑩	受診せず	—	⑩			●		●	ウ	左甲状腺のう胞、左舌区癒痕	
54	女	1930代	⑩	受診せず	—	⑩			●		●	ウ	肝のう胞、右腎のう胞	
55	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩			●		●	ウ	右肺尖陳旧性炎症性変化	
56	女	1940代	②⑩	受診せず	—	②⑩			●		●	ウ	肺尖部胸膜肥厚	
57	女	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩			●	●	●	ウ	肺尖部癒痕	
58	男	1930代	②⑥	受診せず	—	②⑥			●	●	●	ウ		死亡
59	女	1940代	②⑥⑩	受診せず	—	②⑥⑩			●	●	●	ウ	粒状影、炎症性変化	
60	女	1940代	②	受診せず	—	②			●	●	●	ウ		
61	男	1940代	なし	受診せず	—	なし				●		エ		
62	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩				●		エ	右甲状腺のう胞、肝のう胞、左腎のう胞	
63	男	1940代	⑩	受診せず	—	⑩				●		エ	左上葉小石灰化陰影、縦隔リンパ節石灰化	
64	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩				●		エ		
65	男	1940代	⑧⑩	受診せず	—	⑧⑩				●	●	エ	癒痕所見、肺がん術後	
66	男	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩				●	●	エ	血管奇形、冠動脈硬化	
67	男	1950代	②⑥	受診せず	—	②⑥				●	●	エ		
68	男	1930代	⑤⑩	受診せず	—	⑤⑩				●	●	エ	胸膜肥厚	
69	男	1940代	②⑥⑩	受診せず	—	②⑥⑩				●	●	エ	胸膜下結節影、線維化、蜂窩肺所見、脂肪肝疑い	
70	女	1970代	⑩	受診せず	—	⑩				●	●	エ	軽度脾腫	
71	男	1930代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	炎症性癒痕	
72	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	冠動脈硬化	
73	男	1940代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
74	男	1970代	⑧⑩	受診せず	—	⑧⑩					●	オ	のう胞	
75	男	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	癒痕陰影	
76	女	1970代	⑧⑩	受診せず	—	⑧⑩					●	オ	癒痕陰影	
77	女	1970代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	肝のう胞	
78	女	1940代	⑧⑩	受診せず	—	⑧⑩					●	オ	肝のう胞	
79	男	1930代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	炎症性癒痕	
80	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	炎症性癒痕	
81	男	1930代	②③⑦	受診せず	—	②③⑦					●	オ		
82	女	1950代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	右肺炎、炎症性癒痕	
83	女	1980代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
84	男	1950代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
85	男	1940代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
86	男	1940代	⑤⑥⑩	受診せず	—	⑤⑥⑩					●	オ	線維化、肝のう胞	
87	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	両肺炎炎症性変化	
88	女	1930代	②⑥⑩	受診せず	—	②⑥⑩					●	オ	線維化、胸膜下結節影	

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (その他所見)	備考 (終了理由)
89	男	1930代	②⑦⑩	受診せず	—	②⑦⑩					●	オ	気腫性変化、肺気腫	
90	男	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩					●	オ	右中葉癒痕	
91	男	1960代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	心拡大	
92	男	1930代	②⑥⑧⑩	受診せず	—	②⑥⑧⑩					●	オ	肝のう胞、肺内リンパ節石灰化、右上葉癒痕、中葉無気肺、胸骨正中切開術後、心拡大	
93	女	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩					●	オ	胆のう嚢肥厚、右中葉癒痕陰影	
94	男	1920代	②	受診せず	—	②					●	オ		
95	男	1940代	②⑩	受診せず	—	②⑩					●	オ	肺尖部胸膜肥厚	
96	女	1930代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	左舌区肺尖像	
97	女	1940代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
98	男	1940代	②⑦	受診せず	—	②⑦					●	オ		
99	男	1930代	②⑧	受診せず	—	②⑧					●	オ		
100	女	1940代	②	受診せず	—	②					●	オ		
101	男	1940代	⑥⑩	受診せず	—	⑥⑩					●	オ	線維化、肺気腫、肺尖部胸膜影、右中、左下癒痕	
102	男	1920代	②⑥⑩	受診せず	—	②⑥⑩					●	オ	間質性肺炎	
103	女	1920代	②⑩	受診せず	—	②⑩					●	オ	炎症性癒痕	
104	女	1920代	②⑥⑩	受診せず	—	②⑥⑩					●	オ	線維化	
105	女	1920代	⑧⑩	受診せず	—	⑧⑩					●	オ	左肺尖部癒痕影	
106	女	1930代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	炎症性変化、右乳房切除	
107	女	1940代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
108	女	1930代	③⑩	受診せず	—	③⑩					●	オ	両肺尖部癒痕	
109	女	1960代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
110	男	1940代	②	受診せず	—	②					●	オ		
111	女	1940代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
112	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	炎症性変化	
113	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	左上葉、右中葉癒痕	
114	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	左肺底部癒痕	
115	男	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	右上中葉癒痕	
116	女	1960代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
117	女	1970代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
118	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	右中葉、左舌区癒痕	
119	男	1960代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	右中葉癒痕	
120	男	1940代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
121	男	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	肺のう胞、肝のう胞	
122	男	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	心拡大、冠状動脈石灰化	
123	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	肝硬変、脾腫、冠動脈石灰化	
124	女	1940代	⑤⑩	受診せず	—	⑤⑩					●	オ	左上葉癒痕、右上葉のう胞	
125	女	1950代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	両肺尖陳旧性炎症性変化	
126	女	1930代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	左腎のう胞、大動脈石灰化	
127	男	1970代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
128	女	1940代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
129	男	1950代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	軽度脂肪肝	
130	女	1950代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	右上肺のう胞、両肺尖陳旧性炎症性変化	
131	女	1950代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	胆石	
132	女	1930代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	左肺多発性限局性濃度上昇のう胞	
133	女	1940代	⑨	受診せず	—	⑨					●	オ		
134	女	1950代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	陳旧性炎症性変化	
135	男	1960代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	脂肪肝	
136	女	1930代	③⑨	受診せず	—	③⑨					●	オ		
137	女	1940代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
138	女	1950代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
139	男	1980代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
140	女	1950代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
141	男	1950代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
142	男	1950代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	両側肺尖胸膜肥厚	

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (他所見)	備考 (終了理由)
143	女	1970代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	右乳房小石灰化	
144	女	1930代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	両肺尖上肺癒痕性 変化	
145	男	1950代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
146	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	中葉舌区癒痕、肝 臓、脾臓、腹膜リン パ節石灰化	
147	男	1940代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
148	女	1980代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		
149	女	1940代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	両肺尖癒痕、左甲 状腺腫瘍	
150	男	1920代	②⑩	受診せず	—	②⑩					●	オ	気腫性変化、癒痕 性変化散在、	
151	女	1970代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	脾腫	
152	男	1960代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	右下葉、左下葉癒 痕、両側肺尖胸膜 肥厚	
153	男	1970代	⑩	受診せず	—	⑩					●	オ	右肺尖部のう胞	
154	女	1950代	⑧	受診せず	—	⑧					●	オ		

ばく露と医学的所見に係わる集計表(奈良県)

A-4表: 2007年度の分類条件③で受診し2008年度は受診していない方(4名)

No.	性別	生年 (西暦)	2007年度 所見	2008年度 X線所見	2008年度 CT	最新の 所見	ア. 直接職歴 あり	イ. 間接職歴 あり	ウ. 家族内 ばく露あり	エ. 立入・屋内 環境ばく露 あり	オ. その他	ばく露歴 分類	備考 (他所見)	備考 (終了理由)
1	男	1930代	②⑩	受診せず	—	②⑩	●					ア	肝のう胞	
2	女	1940代	②⑩	受診せず	—	②⑩	●		●		●	ア	炎症性変化、気管 支拡張	
3	男	1960代	なし	受診せず	—	なし		●				イ		
4	男	1970代	なし	受診せず	—	なし					●	オ		

B表：ばく露期間に居住していた者（調査協力者の①と②）のばく露歴集計表

	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	小計	うち女性
	●					35	3
	●	●				2	0
	●		●			6	2
	●			●		5	0
	●				●	43	7
	●	●		●		0	0
	●	●			●	5	2
	●		●	●		0	0
	●		●		●	6	3
	●			●	●	1	0
	●	●	●	●		0	0
	●	●	●		●	1	1
	●	●	●	●	●	0	0
	●		●	●	●	0	0
	●	●	●	●	●	0	0
		●				10	2
		●	●			0	0
		●		●		1	0
		●			●	16	3
		●	●	●		2	2
		●	●		●	8	3
		●		●	●	2	0
		●	●	●	●	2	1
			●			9	8
			●	●		3	3
			●		●	53	41
			●	●	●	13	8
				●		4	0
				●	●	26	9
					●	268	159
計*	104	49	103	59	444	521	257
うち女性*	18	14	72	23	237		

\* 縦計については重複計上、横計については実人数を計上

再掲

ばく露の可能性が特定できない者	268人
直接職歴・間接職歴・家庭内ばく露あり・立ち入りあり	253人



B-2表：ばく露期間に居住していた者（調査協力者の①と②）のばく露歴及び年齢階層別分類表

年齢別	計	うち女性	ア. 主に直接職歴		イ. 主に間接職歴		ウ. 主に家庭内ばく露		エ. 主に立入・屋内環境ばく露		オ. その他	
			うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性		
30歳未満	8	5	1	0	0	0	1	1	0	0	6	4
	(6)	(5)	0	0	0	0	(1)	(1)	0	0	(5)	(4)
30～39歳	37	19	5	1	1	0	6	3	3	1	22	14
	(25)	(13)	(4)	(1)	(1)	0	(2)	(1)	(2)	(1)	(16)	(10)
40～49歳	65	40	8	3	4	2	10	8	4	3	39	24
	(43)	(23)	(4)	0	(3)	(1)	(7)	(6)	(3)	(2)	(26)	(14)
50～59歳	105	66	14	4	7	3	17	14	0	0	67	45
	(69)	(43)	(9)	(3)	(4)	(2)	(11)	(8)	0	0	(45)	(30)
60～69歳	183	84	41	3	18	6	29	23	10	2	85	50
	(110)	(46)	(22)	(2)	(7)	0	(14)	(11)	(7)	(1)	(60)	(32)
70～79歳	108	37	30	5	10	0	12	8	13	3	43	21
	(56)	(19)	(13)	(2)	(5)	0	(5)	(4)	(7)	(1)	(26)	(12)
80～89歳	14	5	5	2	1	0	3	3	0	0	5	0
	(7)	(2)	(2)	(1)	(1)	0	(1)	(1)	0	0	(3)	0
90～99歳	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	(1)	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	(1)
合計	521	257	104	18	41	11	78	60	30	9	268	159
	(317)	(152)	(54)	(9)	(21)	(3)	(41)	(32)	(19)	(5)	(182)	(103)

※( )内はH20年度新規対象者数(再掲)

C表：ばく露期間に居住していた者（調査協力者の①と②）に関するばく露歴と医学的所見のクロス集計表  
（C-1 所見について）

	計	うち女性	ア主に直接職歴	うち女性	イ主に間接職歴	うち女性	ウ主に家庭内ばく露	うち女性	エ主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	158	59	37	5	17	3	29	21	9	1	66	29
	(83)	(29)	(19)	(3)	(7)	(1)	(14)	(9)	(6)		(37)	(16)
①胸水貯留あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜プラークあり	102	33	31	4	11	3	23	16	6	0	31	10
	(49)	(16)	(17)	(3)	(3)	(1)	(12)	(8)	(4)		(13)	(4)
③びまん性胸膜肥厚あり	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(1)		(1)									
④胸膜腫瘍疑いあり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤胸膜下曲線様陰影あり	10	1	1	0	2	0	0	0	0	0	7	1
	(3)		(1)		(1)						(1)	
⑥肺野間質影あり	32	8	7	0	5	0	4	3	3	1	13	4
	(18)	(3)	(5)		(3)		(2)	(2)	(2)		(6)	(1)
⑦円形無気肺あり	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧肺野の腫瘤状陰影あり	56	24	9	2	7	0	6	5	2	0	32	17
	(32)	(13)	(4)	(1)	(3)		(2)	(1)	(2)		(21)	(11)
⑨リンパ節の腫大あり	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2)		(2)									
⑤または⑥が確認された者の実人数	34	8	7	0	5	0	4	3	3	1	15	4
	(19)	(3)	(5)		(3)		(2)	(2)	(2)		(7)	(1)

※①～⑨は重複計上含む

\*()内は、平成20年度新規調査協力者(再掲)

(C-2 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、胸膜下曲線様陰影、肺野間質影の所見が見られた者の年齢階層別分類表)

①胸水貯留(疑い含む)

年齢別	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ば く露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
30歳未満												
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
70～79歳												
80～89歳												
90～99歳												
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H20年度新規対象者数(再掲)												

②胸膜プラーク(疑い含む)

年齢別	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ば く露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
30歳未満												
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳	16	8	0		2	1	7	5			7	2
60～69歳	38	10	12	1	5	2	5	2	4		12	5
70～79歳	35	10	13	1	3		8	7	2		9	2
80～89歳	12	4	6	2	1		3	2			2	
90～99歳	1	1									1	1
合計	102	33	31	4	11	3	23	16	6	0	31	10
H20年度新規対象者数(再掲)	49	16	17	3	3	1	12	8	4		13	4

③びまん性胸膜肥厚(疑い含む)

年齢別	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ば く露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
30歳未満												
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳	2		2									
80～89歳												
90～99歳												
合計	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H20年度新規対象者数(再掲)	1		1									

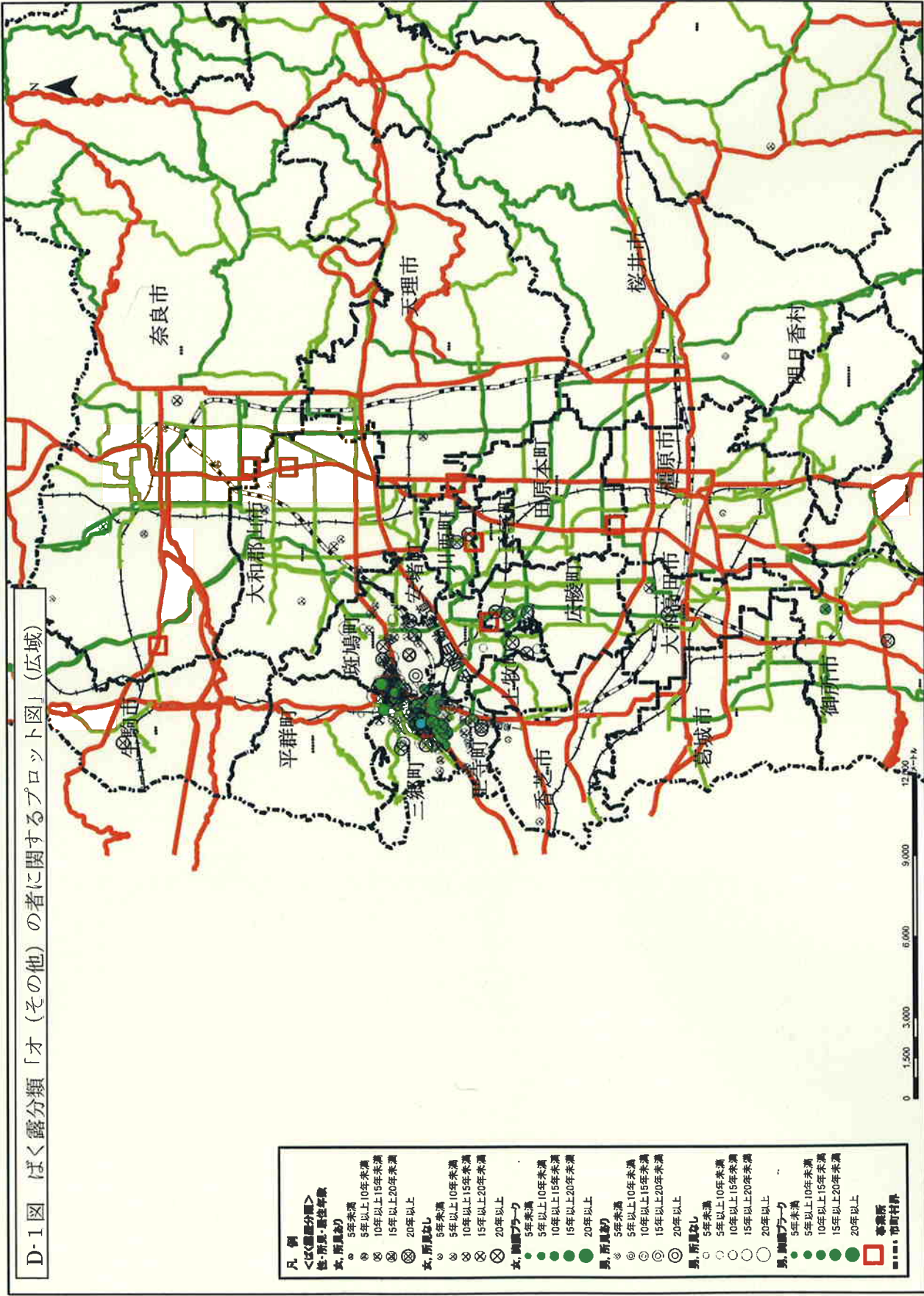
⑤胸膜下曲線様陰影または⑥肺野間質影(疑い含む)

年齢別	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ば く露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
30歳未満												
30～39歳												
40～49歳	1										1	
50～59歳												
60～69歳	13	5	3		1		1	1	2	1	6	3
70～79歳	17	3	4		4		3	2	1		5	1
80～89歳	3										3	
90～99歳												
合計	34	8	7	0	5	0	4	3	3	1	15	4
H20年度新規対象者数(再掲)	19	3	5		3		2	2	2		7	1

(C-3 調査対象者の状況)

年齢別	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ば く露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
経過観察者	518	256	104	18	40	11	78	60	30	9	266	158
調査終了者	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1
合計	521	257	104	18	41	11	78	60	30	9	268	159

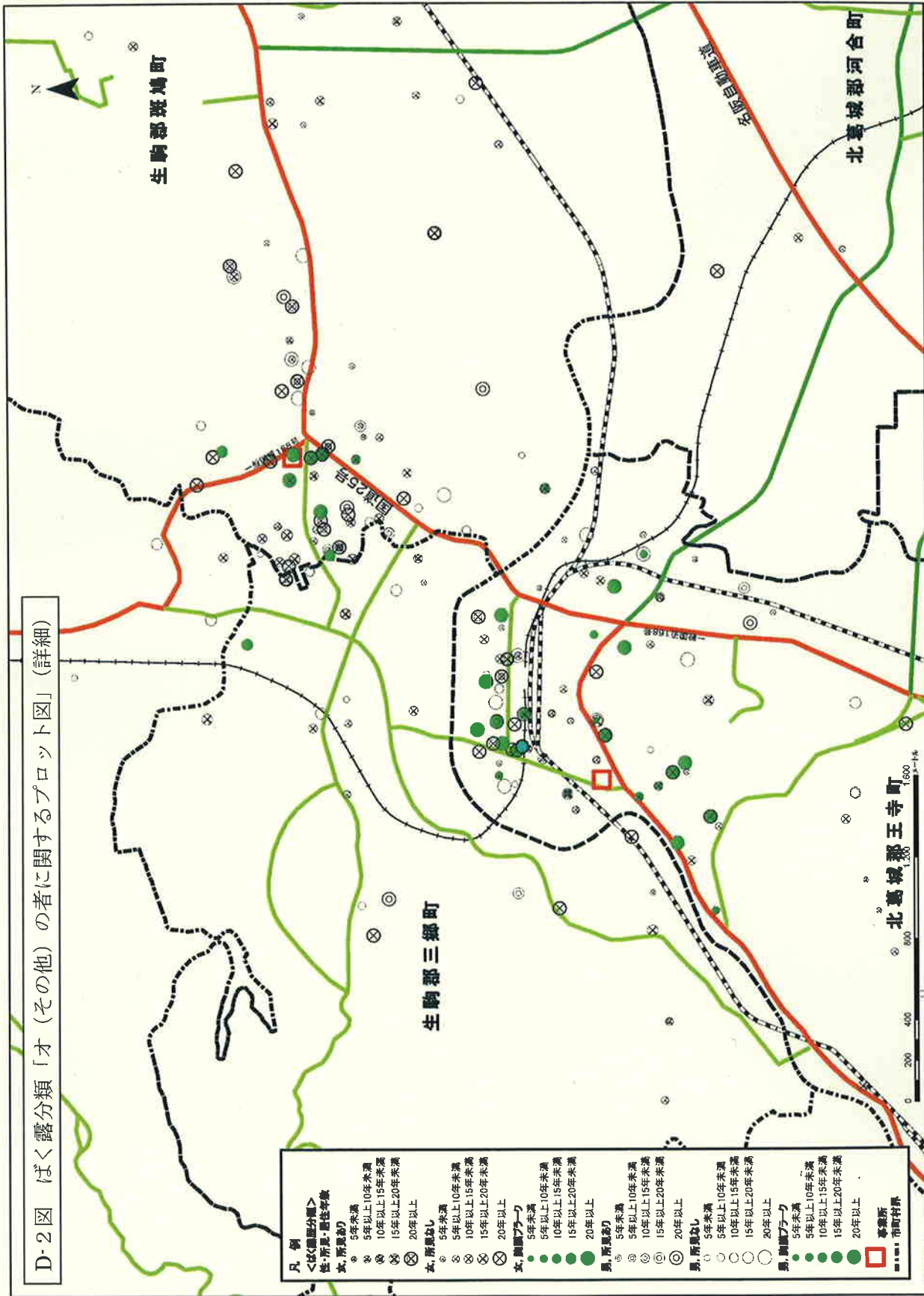
D-1図 ばく露分類「オ（その他）」の者に関するプロット図（広域）



**凡例**  
 <ばく露分類>  
 性・所属・居住年数  
**女、所属あり**  
 ○ 5年未満  
 ⊙ 5年以上10年未満  
 ⊗ 10年以上15年未満  
 ⊕ 15年以上20年未満  
 ⊘ 20年以上  
**女、所属なし**  
 ○ 5年未満  
 ⊙ 5年以上10年未満  
 ⊗ 10年以上15年未満  
 ⊕ 15年以上20年未満  
 ⊘ 20年以上  
**男、所属あり**  
 ● 5年未満  
 ⊙ 5年以上10年未満  
 ⊗ 10年以上15年未満  
 ⊕ 15年以上20年未満  
 ⊘ 20年以上  
**男、所属なし**  
 ○ 5年未満  
 ⊙ 5年以上10年未満  
 ⊗ 10年以上15年未満  
 ⊕ 15年以上20年未満  
 ⊘ 20年以上  
**市町村界**  
 ■■■■■ 市町村界

注：□印の事業所については、大気汚染防止法特定粉じん発生施設の設置等の届出施設を掲載した

D-2 図 ばく露分類「オ(その他)の者に関するプロット図」(詳細)



注：□印の事業所については、大気汚染防止法特定粉じん発生施設の設置等の届出施設を掲載した

D表：プロット対象者とプロット数との関係

	斑鳩町		王寺町		三郷町		河合町	
	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数
胸膜ブランクあり	12	15	16	28	1	2	0	0
他の所見あり	14	21	8	23	5	7	3	0
所見なし	101	117	52	106	13	26	6	9
合 計	127	153	76	157	19	35	9	9

	広陵町		川西町		大和高田市		上牧町	
	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数
胸膜ブランクあり	0	1	0	0	0	0	0	1
他の所見あり	0	0	0	1	1	4	0	0
所見なし	4	7	0	2	3	5	2	1
合 計	4	8	0	3	4	9	2	2

	香芝市		平群町		大和郡山市		桜井市	
	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数
胸膜ブランクあり	0	0	1	1	0	2	0	0
他の所見あり	0	0	1	1	0	2	0	1
所見なし	7	4	1	5	3	12	0	1
合 計	7	4	3	7	3	16	0	2

	橿原市		五條市		御所市		生駒市	
	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数
胸膜ブランクあり	0	0	0	0	1	1	0	1
他の所見あり	0	0	0	0	1	1	0	0
所見なし	3	4	0	3	2	3	0	4
合 計	3	4	0	3	4	5	0	5

	奈良市		野迫川村		大塔村		当麻町	
	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数
胸膜ブランクあり	0	0	0	0	0	0	0	0
他の所見あり	1	2	0	0	0	1	0	0
所見なし	5	11	0	1	0	0	0	2
合 計	6	13	0	1	0	1	0	2

	天理市		大宇陀町		川上村		菅爾村	
	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数
胸膜ブランクあり	0	0	0	0	0	0	0	0
他の所見あり	1	1	0	0	0	0	0	0
所見なし	0	1	0	2	0	1	0	1
合 計	1	2	0	2	0	1	0	1

	榛原町		吉野町		合 計		(再掲) 住所番地が特定できた プロット数
	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	プロット対象者数	プロット数	
胸膜ブランクあり	0	0	0	1	31	53	45
他の所見あり	0	0	0	0	35	65	62
所見なし	0	1	0	0	202	329	272
合 計	0	1	0	1	268	447	379

プロット対象者数の分類は、現住所と直近住所（現住所が県外の者）で分類し、

プロット数は居住歴のある県内市町村すべてについて集計した。

6. 参考資料

・ 問診票

No. \_\_\_\_\_

記入日：平成 年 月 日

問診票

( )保健所

<下記内容についてご記入下さい。>

ふりがな 氏名	.....	男・女	生年月日	大・昭・平 年 月 日生 (満 歳)
現住所	〒			自宅電話番号 (昼間の連絡番号: )

<あてはまる番号に○をつけて下さい>

1. この検診を受けられる理由(きっかけ)は何ですか？

- ① 「ご自身」がアスベストを扱う事業所で就労していた、又は、自営業をしていた(している)。
- ② 「家族」がアスベストを扱う事業所で就労していた、又は、自営業をしていた(している)。
- ③ 「ご自身」がアスベストを扱う事業所の近くに住んでいた(いる)。  
    ※住んでいた(現住所と異なる場合)住所( )
- ④ 「ご自身」がアスベストを扱う事業所の近くで就労していた(いる)。 ※事業所の所在地( )
- ⑤ その他(受診理由: )

2. 現在何か症状はありますか

① はい 症状とは? → 咳 ・ 痰 ・ 胸痛 ・ 息苦しい  
    その他 ( )

② いいえ

3. 今までに、肺の病気にかかったことはありますか？

- ① ない
- ② 以前あったが、今は治っている (内容 )
- ③ ある (内容 )

4. ご家族の方でアスベストに関係すると思われる肺の病気をした方がおられますか？

- ① ない
- ② ある → (「誰が」「いつ」「どのような病気」をされたのか具体的にお書き下さい)  
(内容: )

5. 最近、胸部レントゲン撮影を受けましたか？

① はい 時期( 年 月頃) 結果( ) 場所 ① 職 場 ( )  
    ② 住民検診  
    ③ 人間ドック  
② いいえ ④ 医療機関 ( )病院

6. あなたはたばこを吸いますか？

- ① 吸わない
- ② 毎日ではないが、時々吸う
- ③ 毎日9本以下程度吸う
- ④ 毎日10本~19本程度吸う
- ⑤ 毎日20本以上吸う

※喫煙期間( 歳 ~ 歳 )

※ 以下記入不要。問診時にご確認致します。

精密診断希望医療機関名	_____
-------------	-------

※ 太枠のみ記入してください。(裏面にもあります。)

居住歴 (出生時以降)

	住 所	備 考
(記入例) 昭25年から昭31年	○県△市○町××	
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		
年から 年		

○ 全受診者について記入をお願いします。

これまでの通學歷、学校を卒業してから現在に至るまでの職業歴、石綿を扱っていたご家族の現在までの職業歴についてご記入願います。

(在学中のアルバイト、戦時中の仕事など短期間の仕事もできる限り、記入願います。)

① 本人の通學歷

	通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)		通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)
	(記入例) S25.4-S50.6	○○小学校	○県△市○町××	4			
1				5			
2				6			
3				7			



② 本人の職歴

従事した時期 (年月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄 (⑥⑦以外は複数選択可)							
					①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定	
(記入例) S25.4～S50.6	〇〇産業(株)	〇県△市 〇町	石綿の吹き付け作業 を担当していた									
										通算	年	月

③家族の職歴 (当時同居していた家族のうち、石綿を取り扱っていた方のみ記入)

続柄 父・母 兄・姉	従事した 時期 (年 月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	チェック欄 (⑥⑦以外は複数選択可)							
						①業種	②内容	③取扱 材料	④近傍 作業	⑤出入 場所	⑥吹付 部屋	⑦労災 認定	
		〇〇産業(株)	〇県△市 〇町	石綿の吹き付け作業 を担当していた									
										続柄	通算	年	月
										続柄	通算	年	月

○ 1に○をつけた場合

受診者の家庭生活等について記入願います（複数回答可）。

1 □石綿製品の製造加工作業や内職が自宅であった。 年～ 年（通算）年

2 □家族が石綿関連の仕事についており、 年～ 年（通算）年

道具や作業着、マスク等を家に持ち帰ったことがある。

3 □家庭で石綿製品を使って日曜大工等をしたことがある。 年～ 年（通算）年

4 □石綿工場・鉱山の近くに住んでいたたり、遊んでいたこと 年～ 年（通算）年

がある。

〔4の地域：

（都道府縣市町村名）

5 □造船所の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。 年～ 年（通算）年

〔5地域：

（都道府縣市町村名）

6 □倉庫や建築材料の置場の近くに住んでいたたり、遊んでい 年～ 年（通算）年

たことがある。

〔6地域：

（都道府縣市町村名）

7 □自動車修理工場の近くに住んでいたたり、遊んでいたこと 年～ 年（通算）年

がある。

〔7地域：

（都道府縣市町村名）

8 □幹線道路や大きな交差点の近くに住んでいたことがある 年～ 年（通算）年

〔8地域：

（都道府縣市町村名）

9 □吹き付け石綿のある建物の部屋で、過ごしたことがある 年～ 年（通算）年

年～ 年（通算）年

年～ 年（通算）年

10 □いずれもない

11 □わからない

○ 5で「ある」にチェックがした場合

現在までに、かかったことがある肺の病気について、ご記入願います。

1 □肺結核                      2 □結核性胸膜炎                      3 □肺がん                      4 □慢性気管支炎

5 □じん肺（石綿肺）                      6 □間質性肺炎（肺繊維症）                      7 □肺気腫

8 □原因不明の胸膜炎                      9 □原因不明の胸水                      10 □その他の呼吸器の病気（                      ）

※職歴に関するチェック項目

【①業種】

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 鉱業                     | 4 電気・ガス・熱供給・水道業            |
| 11□ 石綿鉱業                 | 41□ 配管・配線取扱い業              |
| 12□ その他の鉱業               | 42□ 電気業                    |
| 2 建設業                    | 43□ ガス供給業                  |
| 21□ 石綿含有製品を取り扱う作業        | 44□ 熱供給業                   |
| 22□ 石綿含有製品の近傍で行うその他の作業   | 45□ 水道業                    |
| 23□ その他の作業               | 5 運輸業                      |
| 3 製造業                    | 51□ 鉄道業                    |
| 30□ 石綿製品製造業              | 52□ 道路貨物運送業                |
| 31□ 清酒製造業                | 53□ 水運業                    |
| 32□ 化学工業                 | 54□ 倉庫業                    |
| 33□ 石油製品・石炭製品製造業         | 55□ 運輸に附帯するサービス業           |
| 34 窯業・土石製品製造業            | 6 医療、福祉                    |
| 341□ ガラス・同製品製造業          | 61□ 医療業                    |
| 342□ セメント・同製品製造業         | 7 サービス業                    |
| 343□ 建設用粘土製品製造業（陶磁器製を除く） | 71□ 廃棄物処理業                 |
| 344□ 陶磁器・同関連製品製造業        | 72□ 自動車整備業                 |
| 35□ 鉄鋼業                  | 73□ 機械等修理業                 |
| 36□ 非鉄金属製造業              | 74□ その他の事業サービス業            |
| （銅・アルミニウム・鉛などの板・合金などを製造） | 8 □ 解体業                    |
| 37□ 金属製品製造業              | 9 □ その他（具体的に：            ） |
| 38□ 一般・輸送用機械器具製造業        | a □ 不明                     |
| 39□ 造船業                  | b □ なし                     |
| 3a□ 食料品製造業               |                            |
| 3b□ 繊維工業                 |                            |
| 3c□ その他の製造業              |                            |

【②仕事内容】

- |                                    |                            |
|------------------------------------|----------------------------|
| 1 □ 石綿鉱山での作業、石綿製品の製造に関わる作業         | 2 □ 石綿や石綿含有岩綿の吹き付け・貼り付け等作業 |
| 3 □ 石綿原綿または石綿製品の運搬・倉庫内作業           |                            |
| 4 □ 配管・断熱・保温・ボイラー・築炉関連作業           |                            |
| 5 □ 造船所内の作業（造船所における事務職を含めた全職種）     | 6 □ 船に乗り込んで行う作業（船員 その他）    |
| 7 □ 建築現場の作業（建築現場における事務職を含めた全業種）    | 8 □ 解体作業（建築物、構造物、石綿含有製品等）  |
| 9 □ 港湾での荷役作業                       | 10 □ 発電所・変電所での作業           |
| 11 □ 鉄鋼所または鉄鋼製品製造に関わる作業            | 12 □ 耐熱（耐火）服や耐火手袋等を使用した作業  |
| 13 □ 自動車・鉄道車両等を製造・整備・修理・解体する作業     | 14 □ 自動車・トラック・鉄道等の運行に関わる作業 |
| 15 □ ガラス製品製造に関わる作業                 |                            |
| 16 □ 石油精製工場、化学工場内の精製・製造作業や配管修理等の作業 |                            |
| 17 □ 清掃工場・廃棄物の収集・運搬・中間処理・処分の作業     |                            |
| 18 □ 電気製品・産業用機械の製造・修理に関わる作業        |                            |

- 19 レンガ・陶磁器・セメント製品製造に関わる作業
- 20 吹き付け石綿のある部屋・建物・倉庫等での作業（教員 その他）
- 21 エレベーター製造または保守に関わる作業
- 22 ランドリー・クリーニングに関わる作業
- 23 ガスマスクの製造に関わる作業
- 24 上下水道に関わる作業
- 25 ゴム・タイヤの製造に関わる作業
- 26 道路建設・補修等に関わる作業
- 27 映画放送舞台に関わる作業
- 28 農業
- 29 酒類製造に関わる作業
- 30 消防に関する作業
- 31 歯科技工に関わる作業
- 32 金庫の製造・解体に関わる作業
- 33 その他の石綿に関連する作業（ ）
- 34 タルク等石綿含有物を使用する作業
- 35 いずれもない
- 36 不明（忘れた ・ 覚えてない）

**【③仕事で取り扱った材料・製品】**

- 1 石綿原綿（わた・繊維）
- 2 石綿吹き付け材
- 3 石綿フェルト
- 4 石綿保温材・煙突材
- 5 石綿含有屋根材、スレート
- 6 石綿紙
- 7 石綿セメント管・石綿パイプ
- 8 石綿含有ボード（外壁材・内装材）
- 9 石綿パッキング・ガスケット
- 10 石綿織物・布・ひも・ロープ・テープ・リボンなど
- 11 石綿含有塗料、石綿含有シーリング材、石綿含有接着剤
- 12 石綿含有摩擦材（ブレーキパッドなど）
- 13 その他の石綿製品
- 14 いずれもない
- 15 わからない

**【④職場のそばでの作業の有無】**

- 1 石綿含有製品（チューブ・パイプ・板・ボール紙・断熱材など）を切断、取り付け、取り外したりする
- 2 溶接
- 3 支柱・隔壁・ガードに耐火塗装をおこなったり、はがしたりする。
- 4 その他
- 5 不明
- 6 なし

**【⑤仕事で頻繁に出入りしていた場所】**

- 1 倉庫、車庫（どこの ）
- 2 部材置き場（どこの ）
- 3 配管・配線の現場（どこの ）
- 4 船体（どこの ）
- 5 その他（ ）
- 6 不明

7 なし

【⑥職場に吹き付け石綿の部屋の有無】

1 ある

2 ない

3 不明

【⑦会社で労災認定の有無】 (ある場合は認定年月日)

1 ある (認定年月日)

2 ない

3 不明

石綿ばく露健康リスク調査専門委員会 委員名簿

所属団体名	役職	氏名	備考
近畿大学医学部 公衆衛生学教室	教授	伊木 雅之 <small>いき まさゆき</small>	委員長
奈良県立医科大学 地域健康医学教室	教授	車谷 典男 <small>くるまたに のりお</small>	
奈良県保健所長会 (奈良県葛城保健所)	所長	高木 正博 <small>たかぎ まさひろ</small>	
県立奈良病院 内科・呼吸器科	部長	竹澤 祐一 <small>たけざわ ゆういち</small>	
(社) 奈良県医師会	理事	竹村 恵史 <small>たけむら けいじ</small>	副委員長
独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター	副院長	田村 猛夏 <small>たむら もうちか</small>	
恩賜財団済生会中和病院 内科	部長	徳山 猛 <small>とくやま たけし</small>	
奈良県立医科大学 医学部看護学科	教授	濱田 薫 <small>はまだ かおる</small>	
奈良県健康づくりセンター	副所長	福居 健一 <small>ふくい けんいち</small>	
奈良県保健所長会 (奈良県郡山保健所)	所長	山田 全啓 <small>やまだ まさひろ</small>	

(五十音順)